※令和４年度以降入学生用

学校番号	２２０１

令和５年度　国語科

教科	国語科	科目	古典探究②	単位数	２	年次	２～３
使用教科書	新編古典探求　（東京書籍）						
副教材等	古文・漢文を一緒に学ぶ　古典の手引き　（いいずな書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・古文と漢文、古典に関する文章を読んで、我が国の伝統と文化に対する理解を深めます。
・講義形式・実習形式で授業をすすめます。小テストやレポート作成・演習・発表等を行うこともあります。
・教科書・副教材・ノート・筆記用具の他に、ChromeBook を使うこともあるので、注意してください。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
（１）生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
（２）論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
（３）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，古典などを通した先人のものの見方，感じ方，考え方との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
後期	随筆を味わう ［教材］ 枕草子【雪のいと高う降りたるを】	a:本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。 b[読]:「御簾を高く上げたれば」という作者の動作の意図について理解している。 c:『枕草子』に込めた作者の思いについて読み取ろうとしている。	記述の点検 （ノート・ワークシート・等） 定期考査	行動の観察 （ノート・ワークシート・等） 定期考査	行動の観察 （ノート・ワークシート・等）
	歌物語を楽しむ ［教材］ 伊勢物語【初冠】	a:和歌の修辞を含めた表現技法について理解している。 b[読]:二首の和歌の関係とその意図について理解している。 c:進んで「男」の行動と作者の推測や感想との関係について読み取ろうとしている。	記述の点検 （ノート・ワークシート・等） 定期考査	記述の確認及び分析 （ノート・ワークシート・等） 定期考査	記述の確認及び分析 （ノート・ワークシート・等）
	歴史物語を読む ［教材］ 大鏡【道長、伊周の競射】	a:『大鏡』の概要や特徴について理解している。 b[読]:道長、道隆、伊周の関係とそれぞれの人物像を整理している。 c:冒頭に「帥殿」とあることなどから伊周のその後について読み取って伝えようとしている。	行動の観察 （ノート・ワークシート・等） 定期考査	記述の確認及び分析 （ノート・ワークシート・等） 定期考査	行動の観察 （ノート・ワークシート・等）
	小話を読む ［教材］ 宋襄之仁	a:訓点に従って漢文を読み、書き下し文に直している。 b[読]:この故事から生まれた「宋襄の仁」の意味・用法をおおよそ理解している。 c:故事から生まれた「宋襄の仁」の意味を確認し、短文を作成できる。	記述の点検 （ノート・ワークシート・等） 定期考査	記述の確認及び分析 （ノート・ワークシート・等） 定期考査	記述の確認及び分析 （ノート・ワークシート・等）
	古詩を味わう ［教材］ 桃夭	a:漢詩中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解している。 b[読]:詩にうたわれた主題や心情を理解している。 c:詩を読んでその感想について文章にまとめることができる。	行動の観察 （ノート・ワークシート・等） 定期考査	行動の観察 （ノート・ワークシート・等） 定期考査	記述の確認及び分析 （ノート・ワークシート・等）
	中国の思想 ［教材］ 不忍人之心 人之性悪 無用之用	a:諸子百家の代表的な思想家について活動時期や著作を理解している。 b[読]:孟子、荀子、老子それぞれの思想について理解している。 c:それぞれの思想に対して自分が考えたことを文章にまとめることができる。	行動の観察 （ノート・ワークシート・等） 定期考査	行動の観察 （ノート・ワークシート・等） 定期考査	記述の確認及び分析 （ノート・ワークシート・等）

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　0　）時間

・書くこと　…　（　0　）時間

・読むこと　…　（　60　）時間